

# ニューズレター



きめ細かな支援で癒す心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



## 公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びそのご家族に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

## 役員・正会員のご紹介

### 役員（敬称略）

役職	氏名	所属機関等
理事長	伊賀 三千廣	元香川県公安委員会委員長
副理事長	松田 和也	医師（香川県医師会常任理事）
副理事長	齊藤 真吾	弁護士（香川県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長）
理事	大木 祐治	四国学院大学文学部教授
理事	田中 良子	高松大学名誉教授
理事	牟禮 昌忠	株式会社ムレコミュニケーションズ代表取締役社長
理事	大森 邦彦	四国新聞社専務取締役総務局長
理事	平野 美紀	香川大学法学部教授
理事	野田 法子	香川県婦人団体連絡協議会会長
理事	中村 朝宏	前一般財団法人香川県交通安全協会専務理事
専務理事	中川 義広	当センター事務局長
監事	高木 一郎	税理士
監事	和田 武志	香川県警友会連合会会長

顧問	谷山 敬一	香川県警察本部警務部長
----	-------	-------------

### 正会員（敬称略、順不同）

団体名	団体名
一般財団法人 香川県交通安全協会	株式会社 四国新聞社
一般社団法人 香川県医師会	公益財団法人 香川県防犯協会連合会
一般社団法人 香川県警備業協会	公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センター
一般社団法人 香川県トラック協会	四国旅客鉄道 株式会社
一般社団法人 香川県指定自動車学校協会	四国電力 株式会社 香川支店
医療法人社団 昌樹会ウツミ整形外科医院	高松信用金庫
香川県安全運転管理連絡協議会	ネットヨタ高松 株式会社
香川県弁護士会	野村證券 株式会社 高松支店
香川県警友会連合会	株式会社 百十四銀行
株式会社 タダノ	香川県商工会議所連合会
株式会社 香川銀行	一般社団法人 香川経済同友会
株式会社 たいよう共済香川支店	自動車安全運転センター香川県事務所
株式会社 ムレコミュニケーションズ	

## 賛助会員のご紹介

### 賛助会員（敬称略、順不同）

団 体【1口：1万円以上】	
香川県婦人団体連絡協議会	四国トラステック 株式会社
平成機工 株式会社	株式会社 パブリック
香川県遊技業協同組合	株式会社 ときわ美装
株式会社 高松アセットビルディング	高松ライオンズクラブ
有限会社 エイトヒルズ・コーポレーション	四国交通共済協同組合
三豊ライオンズクラブ	株式会社 福島商会
株式会社 富士クリーン	有明法律事務所
平井法律事務所	高橋石油 株式会社
川東法律事務所	高島総業 株式会社
馬場法律事務所	増田薬品 株式会社
株式会社 多田文房堂	西村ジョイ 株式会社
四国特機 株式会社	香川県信用保証協会
四国ネコス 株式会社	株式会社 榊紙店
株式会社 エースユニフォーム	香川ヤクルト販売 株式会社
株式会社 中央印刷所	一般社団法人 香川県建設業協会
株式会社 アイコー印刷	アオイ電子 株式会社
富士印刷 株式会社	香川県レンタカー協会

（令和2年1月末現在）

個 人【1口：千円以上】			
松岡 康博	小林 正則	中村 朝宏	伊賀三千廣
松岡 定幸	青井 富子	堤 健	篠原 賢一
藪下 俊一	河野美智子	平野 美紀	隅田 和宏
安藤 晃	高木 一郎	直井 昇	川口 能孝
岡 義博	小林 欣一	沖 哲生	三浦 正章
河村 正章	末吉としみ	佐々木美知代	松田 和也
高畑 満	田中 良子	山内 高雄	藤原 陽子
大前 知義	穴吹 勇人	前川 宗正	盛田 裕介
野崎 徹	井上 庄司	谷本 美樹	田村 弘樹
大木 祐治	田中 優子	眞鍋 夏海	佐野 満
その他 匿名の方 6名			

（令和2年1月末現在）



センターの活動を支えてくださる皆様に感謝申し上げます

ご協力いただいた賛助会費は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

なお、誤字、記載もれ等がございましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、今後、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

## 「犯罪被害者支援特別栄誉章」受章

警察庁と全国被害者支援ネットワークが表彰する「犯罪被害者支援特別栄誉章」に、当センター支援局長の伊藤好美が選ばれました。被害者支援に長年尽力し、特に功績が大きい個人をたたえるもので、県内での受章は初めてです。香川の支援活動の中核を担い、後継者の育成にも努めていることなどが評価されました。

当センター職員及び関係者一同、大変名誉なことと思ひ、喜んでおります。

「犯罪被害者支援特別栄誉章」受章に寄せて

支援局長 伊藤好美

このたびは、思いもかけず大きな章を頂き身に余る光栄と感謝申し上げます。

この受章が県内の仲間の励みになり、犯罪被害者支援の認知度向上につながることを願っています。

これからも、被害者の声に耳を傾け、心に寄り添ったケアを心掛けていきたいと思ひます。



## 作品介绍

交通事故被害者ご遺族が、飲酒運転撲滅の祈りを込めて、手掘りのマスコットを作製しています。今も継続的に作製されていて、時々支援センターに持参して下さいます。

作品は、運転免許センターの更新窓口で展示、無料配布しておりますが、わずかの間になくなってしまふほど運転免許の更新者に大好評です。



このフクロウは安全運転への祈りを込めて作っています。

ドライバーのみなさん、決して飲酒運転をしないで下さい。

あなたの周りの人に、飲酒運転をさせないで下さい。

飲酒運転の車に20歳の息子を奪われた母の、切なる願いです。

石原 郁代



# 被害者支援シンポジウム2019開催

## 「忘れていませんか 子どもへの支援」

話し手 殺人事件被害者遺族 兄  
聴き手 香川大学法学部教授 平野 美紀 氏  
(当センター理事)

犯罪被害者や遺族への支援に理解を深めるため、11月25日(月)香川県社会福祉総合センターにおいて被害者支援シンポジウム2019「忘れていませんか 子どもへの支援」が開催されました。

### 第1部《被害者支援を考える》

2004年当時小学校6年生の妹さんを殺人事件で亡くされたお兄さんは、授業中突然先生から呼び出され、たくさんの先生が囲む中、妹さんの死を告げられました。何も分からない状況の中で過ごすことになった数時間は本当に苦痛で不安であったし、その事で学校自体がトラウマになったと語られました。精神的に不安定になった時期もありながら、いつもと変わらず接してくれる友人の一言で初めて「自分」を見つめることが出来たことや、生活・学校などへの支援をしてくれる周りの方々の助けがあったとも語られました。

犯罪被害者等基本法でも継続的支援の必要性が謳われています。1年後2年後、そしてそれ以後の息の長いさまざまな支援を必要に応じて行うことの重要性と必要性を改めて強く感じる貴重な機会となりました。

### 第2部《警察音楽隊によるミニコンサート》

女性奏者4人のアンサンブルで、『花は咲く』や『赤とんぼ』などの演奏があり、心温まるひと時を過ごしました。

当日は約210名が参加し、心揺さぶられるお話しや演奏に聞き入りました。



## 相談状況

— 2019年中 —

### 1 電話相談被害罪種別件数

電話相談の受理総数は220件で、被害内容を罪種別に見てみますと、強制性交等罪等の性犯罪、殺人（傷害致死）に関する相談を多く受理しています。



### 2 面接相談被害罪種別件数

面接相談の受理総数は46件で、被害内容を罪種別に見てみますと、強制性交等罪等の性犯罪、交通(死亡)事故が11件、殺人・傷害致死が10件と多く受理しています。



### 3 直接的支援内容別件数

電話や面接相談の結果、必要に応じて法律相談や心理相談などを行っており、法律相談26件、心理相談14件実施しています。また、ご要望に応じて裁判所や検察庁、行政窓口等への付添い支援を行っています。



### 犯罪や交通事故などの被害でお悩みの方に…

- どこに相談したらよいのか分からない。
- 事件後、からだや心の調子が悪い。
- 何かをする気力が出ない。



～ 私達にお電話ください ～

相談電話：087-897-7799

受付時間：月～金曜日 午前10時～午後4時  
(祝日、年末年始は除きます)

相談・支援は無料で行います。

秘密は固く守ります。

## 活 動

### 犯罪被害者等支援ボランティア相談員養成講座

- 5月9日～10月24日の間10回開催  
【講師：香川県職員、警察官、弁護士、大学教授、臨床心理士、他県の被害者支援センター相談員、被害者ご遺族など】  
<10名受講>



支援活動員養成講座を開催します  
令和2年度も5月～10月の間計10回の  
養成講座の開催を予定しております。  
受講を希望される方は当センター事務局ま  
でご連絡ください。 ☎087-897-7790



修了証授与式の様子

### 継続研修

- 毎月1回開催  
【講師：大学教授、検察庁職員、弁護士、他県の被害者支援センター相談員、臨床心理士、被害者ご遺族など】 <毎回11～15名参加>



### 性暴力被害者支援センター 「オリーブかがわ」支援員養成講座

- 10/20、11/16・17・24日 計4回開催  
【講師：性暴力救援センター・大阪 SACHICO】  
<11名受講>



### 関係機関との連携

- 香川県弁護士会被害者支援委員会(毎月1回)、  
テーマ研究会(年4回)
- 被害者支援連絡協議会：香川県警察本部(7月)



### 講話

- 香川大学法学部入門ゼミ  
犯罪防止の啓発について一被害者の視点から (5/15)
- 安全運転管理者講習：高松(年3回)
- 高松高等検察庁講演(10/29)
- 矯正研修所高松支所



### 研修

- 中国・四国ブロック上半期研修会：広島 (9/7～8)
- 全国犯罪被害者支援フォーラム2019及び秋季研修会 (10/18～20)
- 中国・四国ブロック下半期研修会：岡山 (1/18～19)

## 上半期研修会に参加して

令和元年9月に広島県で開催された全国被害者支援ネットワーク「質の向上研修上半期研修会」に参加致しました。2日間、道を究めた講師の方々から、支援に関するあらゆる角度の講義を受けることが出来ました。どの講義もロールプレイや、グループ討論などを取り入れ、参加者同士で考える時間を重視していました。講師ご指導のもと、参加者と交流する中で、知識は勿論重要ですが、支援員としてコミュニケーション力を高めることが最も必要な事であると気付かされました。自分の伝えたい事を的確に人に伝えること、そして人の言葉をしっかりと聴くことを意識して向上させたいと思いました。

このような県外の研修会に参加するのは、初めてのことで緊張していましたが、参加して本当に良かったと思いました。他地域の支援センターの様子が分かりましたし、何よりも被害者支援に熱意を持って取り組む人の広がり、こんなにもあるのだという感動があったからです。被害者支援は社会にとって必要不可欠であり、その存在はより良い社会を築いて行く希望であると確信しました。学んだことを今後の活動に活かして行きます。このような機会をいただきましたことを、心より感謝致します。

支援員 F

## 全国犯罪被害者支援フォーラムに参加して

前半は松井克幸氏の講演、後半は「地域社会で被害者家族を支える～子どもへの中期的支援のために～」というテーマでのパネルディスカッションという構成で、いずれも今後の活動に取り組んでいくうえで欠かせない内容のものでした。今回は松井氏の講演についてお話しさせていただきます。松井氏は当事者のお兄様でいらっしゃいますが、その穏やかな話しぶりの中に強さが伝わって来るものでした。今に至る時間がそうさせたのでしょうか。そしてそれは今も続いているのでしょうか。講演では当時のマスコミによる二次被害についても多くを語られていました。遺族の心情やプライバシーよりも公共の利益を優先させると言う大義の下に、マスコミ取材が近隣のみならず妹さんが勤務していた幼稚園の園児にまで及んでいたことや、不確かな情報から推測されたストーリーを事実かの如く報道されてしまう怖さを知りました。またその真実が明らかになっても訂正や取り消されることもないという事も。その時代がそうだったからとは考えたくありません。7年前の現実です。憤りしかありません。

被害者支援に望むこととしては、被害者や被害者家族に情報を伝えることの重要性が示されました。またその姿勢としては支援者の価値を押し付けてはいけないう距離を置かず積極的に関わる事でした。そして「多くの悲しみ、苦しみを理解されない辛さ」を知って欲しいとのことでした。

今回のフォーラムや全体研修では知識として多くの事を学べたこともさることながら、被害者支援に対する思いをより固めることが出来ました。貴重なチャンスを与えて頂き本当にありがとうございました。

支援員 K

## 秋期全国研修会に参加して

台風の被害があらちから報告される中、全国研修会に参加させていただきました。

第Ⅰ分科会では「社会福祉と被害者支援」を学びました。社会福祉の概念から始まり、社会保障制度の仕組み、関係機関との連携、更にはより良い連携体制に向けての課題について講義いただきました。経験が浅い私にとっては被害者支援における社会福祉的支援の理解が深まりました。

第Ⅱ分科会では「被害者電話相談の特殊性」について講義を受け、グループに分かれてのロールプレイを繰り返し行いました。他県の支援員の方々との討議は刺激を受けました。全国で支援員が各々の地で自らの知識を深め被害者と共に歩んでいる事を体感し、改めて身の引き締まる思いがしました。

この研修会の後、休むことなく長野の被災者支援に向かわれた方のパワフルな表情にこちらが元気を貰い、支援する立場の心意気を見せていただきました。私も少しでも被害者のお役に立てるよう精進していきます。

支援員 I

## 広報

### ■パネル展



瓦町フラッグ(11.29～12.4)



じんけんフェスタ(11.30:サポート)



香川県庁(12.9～13)

### ■被害者支援シンポジウム(11/25)でホンデリング

被害者支援シンポジウムでホンデリングへのご協力を呼び掛けたところ、たくさんの方が集まりました。皆様のご支援に感謝いたします。



## 命の大切さを学ぶ教室

令和元年度は香川県警察と連携して中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」を中学校4校、高校4校の計8校で実施しました。講師は事件事故の被害者ご遺族にお願いしました。生徒達は真剣な表情でご遺族の話を聴き、改めて命の大切さを学び、犯罪や交通事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



### 実施校

12月	綾川町立綾南中学校 多度津町立多度津中学校 善通寺市立東中学校 県立香川中央高校	1月	琴平町立琴平中学校 県立石田高校 県立多度津高校
		2月	私立高松中央高校



### 令和2年度 実施校募集中!

令和2年度も10校程度の中学校、高校で開催を予定しています。全校生、学年対象どちらでも可能です。講師への依頼や送迎などは当支援センターと県警察が行います。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、ご説明におうかがいしますので、ご連絡をお願いします。 <連絡先> [かがわ被害者支援センター \(087\) 897-7790](tel:087-897-7790)

## 受賞

### 令和元年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール(警察庁主催)

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生から命の大切さや被害者支援に関する作文を募集し、全国の作文の中から優秀な作品を選定しているもので、今回は県内から中・高校生3名が受賞されました。

<中学生の部>

警察庁長官官房給与厚生課被害者支援室長賞

「大丈夫。」

綾川町立綾南中学校1年 小野 稚奈 さん

「大丈夫。よくがんばったね。」「大丈夫、上手にできたね。」運動会や習い事の発表会、そして私が両親に叱られて落ち込んでいる時、祖母は決まって私にこう声をかけてくれた。祖母が満面の笑みでかけてくれるこの言葉を聞くと、私の嬉しさは倍になり、悲しさは消えた。「大丈夫。」は、私と祖母をつなぐ大切な言葉の一つとなっていた。あの日も・・・

あの日は私たち家族と祖母で、県外の、おいしいと評判のレストランへランチに行く予定だった。迎えに行くと祖母は、「ちょっとカゼ気味でしんどいから、今日は行くのをやめておくね。おばあちゃんは大丈夫やから、みんなで楽しんでおいで。」いつも元気な祖母の体調不良に、心配しながらも私たちは予約したレストランへ向かった。それから三日後祖母は入院した。カゼではなく、命の危機が迫る、大変な病気で、ICUへの入院となった。その病院では、子どもはICUへ入ることはできなかった為、祖母の容体はわからなかったが、病院からの説明を聞いた父や母は泣いていた。それから毎日、会えないとわかっていても病院へ行く両親について行った。毎日毎日、銀色のぶ厚い扉の向こうにいる祖母に心の中で話しかけた。「何か私にできることはないのだろうか?」いろいろと考えた結果、あることを思いついた。「そうだ、滝宮天満宮には、なで牛がいる!!」次の日の学校帰り、私はまっすぐに天満宮へ。なで牛をなでると願いが叶うと聞いていた私は、「おばあちゃんの病気を治して下さい。わがままも言わないし、勉強もするし、欲しい物も何もありません。だからどうか、お願いします。」私は、ありったけの思いを込めて、なで牛にお願いし、健康守を買って家に帰った。そしてその日の夜、面会に行く母に、手紙とお守りを預けた。祖母はとても喜び、すぐにベッドのわきにお守りと手紙をつるしてくれたと母から聞いた。その後も祖母は様々な検査や治療を試るが、一進一退を繰り返していた。毎日銀色のぶ厚い扉の前で、面会に入る両親を見送り、出てきた両親にかけ寄って様子を聞く私の姿を見ていた看護師さんや先生が、「おばあちゃん、今日は〇〇をがんばったのよ。」「今日は熱が下がって、少し楽そうだったよ。」と声をかけてくれることも増えた。そんな言葉を聞く度に、私はますます祖母に会いたくなかった。会えない日々が何年にも何十年にも感じられた。そんな中、夜中に祖母の容体が急変したと病院から知らせを受け、病院へ駆けつけた。一命はとりとめたものの、その日から祖母は、昏睡状態になった。全てのことに全く反応しなくなった祖母に、ある時父が、これはどうだろう?とボイスレコーダーに私たち孫の声を録音して聴かせてみようかと提案した。早速、メッセージを録音して祖母の耳元で再生してみると、手や足を動かし、涙を流した。先生や看護師さんたちも驚いていたらしい。「おばあちゃんはわかっている!生きています!がんばっている!」こんな大変な時に何もできない自分をくやんでばかりいた私は、その出来事を聞いて、少し嬉しかった。でも、ICUに入ってから五十二日目ついに恐れていた祖母との別れの日を迎えることとなった。祖母は、昏睡状態になってから一度も開けたことのない目を開けて、私たち家族が全員揃うのを待っていた。みんなの顔を一通り見回し、旅立った。最後まで周りのことを気遣って。

祖母が好きだった場所、物、食べ物、色、口ぐせ、様々な場面で祖母の姿を思い出し、今も悲しみはいえない。中学生になった私、部活を始めた私、もっともっと色んな私を見てほしかった。そして満面の笑で「大丈夫がんばっているね」と言ってほしかった。でも、今度は私が、「大丈夫、がんばっているよ。」と伝えたい。命はつながっているから。

## <高校生の部>

### 警察庁長官官房給与厚生課被害者支援室長賞

#### 「命の大切さを感じて」

香川県立石田高等学校2年 谷本 光優 さん

春休み。毎日、部活動で学校へ通う間に、あんなに早かった日の入りが少しずつ遅くなり、僕は高校二年生になろうとしている。初めて会ったクラスメートと一年間、騒いだり、笑ったりした教室が新しい一年生の居場所になり、僕たちは尊敬する先輩の教室を無事に継げそうだ。そんな今日を迎えられたのは、ごく普通のことだと今まで思っていた。

高校に入学してからのこの一年間で、僕は今まで全く知らなかった土木の技術を一から学んだ。また部活動では、あまりの厳しさに一時期辞めようと思ったこともあったが、なんとか続けてこられた。この一年の間に、僕自身はたくさんの経験をして、知識や技術を吸収することができた。しかし一方で、自分の進路などの将来を見据えて行動するとか、一生懸命に努力するということはなかった。僕は将来、どうなるのだろうか。そして、何気なく考えている自分の未来は本当に存在するのか。一年後、十年後どころか、明日があるのかさえ分からず曖昧に生きている今の自分自身のことをぼんやりと考えていると、「命の大切さを学ぶ授業」で命の大切さ、その重さを語る三浦さんの姿を思い出した。

三浦さんは、平成二十三年五月に広島県内の県道で、当時十六歳だった長男の伊織さんの命を、一台の飲酒運転の車に奪われた。中国地方の裁判員裁判で初の危険運転致死罪適用事件であった。犯人は飲酒運転の常習性が認められ、懲役十年の刑が確定した。そして、三浦さんはこの事件の後、「誰一人として加害者にも被害者にもさせたくない」という思いから、飲酒運転根絶のための啓発・講演活動を行ってこられた。そして私が在籍する石田高等学校にも来校され、その貴重な話をうかがうことができた。伊織さんは、自転車競技部に所属していて、一生懸命に練習に励む素直で友人思いの男の子だったと聞いた。しかし、その命は、軽い気持ちで加害者が起こした過ちにより一瞬で失われた。

僕は、その話をうかがいながら、伊織さんを自分の大切な友達や家族と置き換えて考えていた。すると、悲しさなどではなく、真っ先に怒りが込み上げてきた。僕がもしその場にいたら、怒りに身を任せていたかもしれない。そして、「かわいそう」とか「僕はああんりたくない」などの他人事のような気持ではなく、ただただ胸が辛くて、苦しくて、たまらなかった。また僕は、「生命のメッセージ展」の紹介も印象に残った。それは事故の遺族が開催した「命を奪われる人を無くす」ためのイベント。不慮の事故や事件で亡くなった人が身につけていた衣類や靴などを、顔写真や家族のメッセージ付きのボードと共に展示していた。その中には、僕の膝よりも低い背丈の子どものものや、とても穏やかな笑顔の女性の写真もあり、それを見たとき、僕は人目もはばからずに泣いてしまった。

僕の命だって、本当にいつどうなるか分からない。そんな誰も未来を予想できない今、自分は精一杯生きられているだろうか。そして、両親や友人にきちんと感謝の気持ちを伝えられているだろうか。また、もし自分が亡くなったら、周りの人間を三浦さんのように悲しませることになるのだとも思った。そして、三浦さんの話して下さった「生きていることに大きな価値がある」という言葉が、僕の考え方を大きく変え、心に残る言葉となった。

この講演のひとつときは、今の自分を見つめ直し、友人や家族について深く考えることのできた貴重な時間となった。そして、笑ったり、怒ったりしながら何気ない一日を過ごしている人の、その一日が、決して最後の一日にならないようにと祈り、また自分自身の行動に気をつけながら、自らの大切な人たちも守りたいと誓った時間であった。

「失う前に失わないために」

香川県立香川中央高等学校2年 福田 有紗 さん

普段、ニュースや新聞で死亡事故、死亡事件が報道されたとき、皆さんはどう感じて考えることが多いでしょうか。今まで事故、事件による死亡者が出たニュースを耳にしたとき、私は加害者を責め、なんてことをしているのだとあきれることしかしていませんでした。そのうえ遺族の方のことなど気にも留めず次のニュースに興味を移してしまっていました。しかし、今回の講演で大切な人をなくしつらい日々を送ることになってしまった遺族の方の気持ち、加害者への気持ちや願いを学ぶことができました。

今回お話しして下さった三浦さんは飲酒運転によるひきにげ事故で息子さんを亡くされました。涙ながらに当時の様子、癒されることのないであろう悲しみをお話しして下さいました。

私は中学一年生のときとても大好きで尊敬していた叔母を亡くしました。亡くなった連絡を受けたとき三浦さんが訳も分からず夢心地のまま警察の方から電話を受けたように、私もはじめは母の携帯にかかってきた電話の内容を気にも留めていませんでしたが、電話で話す一言一言、母の「えっ・・・」という声と動揺した様子で状況を察することができました。しかし、自分が察したにも関わらず、うそだ、信じられない、信じたくない気持ちで頭がいっぱいになり涙がでてこず、最初は泣くことができませんでした。頭がぼんやりとしたまま時間が過ぎ、存分に泣くことができたのは出棺の時でした。やっと自分の中でもう会えない、顔を見ることができないという現実が整理でき、お花を入れたときにはじめてしっかりと遺体に触れました。講演の中でお話しして下さったように、私が触れても一ミリも動かず、手のひらの熱は冷たく冷え切った頬に奪われていったのを今でも鮮明に覚えています。

このことがあり、私は講演でお話しして下さったことを自分と重ね合わせながら聞いていました。共感できる心情がいくつもあり、何度も涙をこぼしそうになりながら聞いていました。私が一番共感できた心情が「亡くなった人を忘れてしまうのが怖い」という心情でした。日を重ね新しいことが次々と起こる生活の中で大切な人を亡くしたという出来事がいつか記憶の中に埋もれて見えなくなってしまうのではないかという恐怖を私も感じていました。

しかし、この恐れを感じることもできたからこそ、三浦さんにとって講演で息子さんのことをお話されるきっかけになったのではないかと私は思います。息子さんが亡くなった交通事故を遺族の中だけで意識し続けていくのではなく、次の被害者、同じように苦しくつらい思いをする遺族が増えないように、こうした講演や展示などで社会に印象づけることはとても大切なことだと思います。

では、このような講演だけが事故、事件を減らす手段でしょうか。私たちにもできることはたくさんあると思います。

まず私たちが被害者にも、加害者にもならないようにルールを守り、一人一人が行動に責任を持つことが大切です。例えば私たちが通学するときに使っている自転車。一瞬の気のゆるみで加害者になりうる危険なものだということを自覚することが大切です。

次に命の重み、はかなさを理解することが大切です。命はゲームのようにいくつもあり強靱なものではありません。私たちが考えているよりずっと脆く、尊いものなのです。軽んじることなく自分を周りの人を大切にしてほしいと思います。

大切なものを失ってから気づくことのないよう、これからの自分の行動を責任の持てるものにして命を大切にできる人になりたいと思います。

## 多くの方々からのご支援に感謝

寄附者(敬称略、順不同)

(平成31年4月～令和2年1月末)



<p><b>【団体】</b>                      香川県弁護士会                      香川県交流推進部交通政策課親交会                      (公財)香川県暴力追放運動推進センター                      (一社)香川県自動車整備振興会                      (医)豊南会 香川井下病院                      (一財)香川県交通安全協会安全教育部                      (一財)香川県交通安全協会事務局                      (株)エースユニフォーム                      (株)美巧社                      (株)中央印刷所                      (株)アイコー印刷                      四国交通共済協同組合                      中国四国管区警察局四国警察支局                      香川県情報通信部  <b>【香川県警察各所属】</b>                      総務課                      広聴・被害者支援課                      企画課                      人事課                      監察課                      会計課                      厚生課                      情報管理課                      生活安全企画課                      人身安全対策課                      少年課                      生活環境課                      地域課                      通信指令課</p>	<p>刑事企画課                      捜査第一課                      捜査第二課                      組織犯罪対策課                      鑑識課                      科学捜査研究所                      交通企画課                      交通指導課                      交通規制課                      運転免許課                      交通機動隊                      高速道路交通警察隊                      公安課                      警備課                      機動隊                      警察学校                      東かがわ警察署                      さぬき警察署                      高松東警察署                      小豆警察署                      高松北警察署                      高松南警察署                      坂出警察署                      高松西警察署                      丸亀警察署                      琴平警察署                      三豊警察署                      観音寺警察署</p>	<p><b>【個人】</b>                      石原郁代                      宮本隆義                      穴吹忠義                      弾正原守                      國方卓                      白井章男                      吉田宏之                      松原正則                      福一浩美                      久保茂健                      石垣忠志                      小谷幸雄                      荒川博之                      渡邊智子                      高木真紀子                      岡久美子  <b>【ホンデリング】</b>                      井上祥子                      山下加代                      川谷泰則                      森弘恵                      合田アヤノ                      川東祥次                      前田利也                      (公社)坂出青年会議所                      香川県警察音楽隊                      高松北警察署                      高松南警察署                      東かがわ警察署                      三豊警察署                      匿名の方1名</p>
---	--	--

## ホンデリングにご協力をお願いします

不要になった本・CD・DVDでご寄付をいただく社会貢献プロジェクトです。  
 あなたのの本のご寄付で犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。

お申し込み方法 (①→③へ)

- ①本・CD・DVD・ゲームを「贈与承諾書」※とともに梱包
  - ②買い取り業者「株式会社バリューボックス」☎0120-826-295 に電話
  - ③宅配業者(ヤマト運輸)がご指定の時間に引き取り(5点以上で着払い)  
 「株式会社バリューボックス」での査定金額が、かがわ被害者支援センターに  
 寄付されます。
- ※「贈与承諾書」は、当センターのホームページからダウンロードしてください。



## 「被害者支援自動販売機」設置場所

被害者支援自動販売機を設置していただくことによって、社会貢献をされている企業・団体及び個人の方々です。設置にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(令和2年2月現在 159台：順不同、敬称略)

### 東かがわ市

ネットヨタ高松(株)さつき店、香川県農業協同組合白鳥支店、(有)マイルドケアたんぼぼの家  
(株)JA 香川県オートエナジー (ジャスコ 大内 SS)、ひとの駅さんぼまつ、(公社)東かがわ青年会議所  
東かがわ市役所、東かがわ警察署

### さぬき市

オレンジタウンゴルフセンター藤井学園ゴルフ練習場、(老福)真清水荘、(株)さんがわ自動車学校、さぬき市民病院、志度ゴルフセンター、藤井学園寒川高校第二青雲寮、(株)JA 香川県オートエナジー (ジャスコ 長尾 SS、鴨部 SS) 【2台】、道の駅ながお、さぬき警察署

### 三木町

(株)エムケーインデクト三木リサイクルプラント、東洋工業(株)三木工場【2台】  
高橋石油(株) (三木町給油所)、(株)村上組 氷上水道工事現場、高松東警察署

### 小豆島町

小豆島オリーブ公園 (オリーブ記念館)、サン・オリーブ温泉 (サン・オリーブ)、小豆島中央病院、小豆島町役場、小豆警察署

### 土庄町

小豆島オリーブタウン停留所、土庄町域学連携交流会館「夢すび館」  
土庄町庁舎 J V 工事事務所 (大林・西崎特定建設工事共同企業体)

### 高松市

東洋工業(株)本社【3台】、高橋石油(株) (本社、松縄店)【2台】、にこにこライフ高松、(有)四国ハニー、(株)バジェットレンタカー四国本社、高松自動車学校、(株)えびす石材土木【3台】、(有)佐藤建材運輸、岡本カイロプラクティック院、香川舗道(株)高松営業所、リユーテック朝日町サービスセンター、ルビー商會、(株)村上組【2台】、(有)中西製麺【2台】、椋川ダム建設工事事務所 (大成・飛鳥・村上特定建設工事共同企業体)【6台】、香川県農業協同組合 (中央地区営農センター、太田支店、本店一宮別館、ふれあいセンター高松市中央店)【4台】、(株)村上組建設工事現場【2台】、ホンダ U-Select 高松、(株)JA 香川県オートエナジー (一宮 SS、ジャスコ 川東 SS)【2台】、コインランドリーニカタ十川店、(有)鷺之山石材商會、(株)NTT ドコモ四国支社、西部バイパス幹線工事 (大成・村上特定建設工事共同企業体)、菱弘自動車(株)、オリーブテコンドークラブ高松道場、(株)アイコー印刷【2台】、タチバナ工業(株)、(株)村上組 (詰田川二工区工事現場事務所、一宮町水道工事事務所)【2台】、(株)高岸工務店 高松南高校駐輪場改築工事現場事務所、(株)合田工務店【3台】、香川県警察本部【2台】、香川県警察本部運転免許センター、高松北警察署【2台】、高松南警察署【2台】

### 綾川町

(株)フレッシュデポ綾上事業所、(株)JA 香川県オートエナジー (昭和 SS、ジャスコ 滝宮 SS)【2台】  
綾川町ふれあい運動公園、綾川町本庁舎、高松西警察署

### 坂出市

三菱ケミカル(株)坂出事業所、少林寺拳法坂出専修道院、(社福)敬世会特別養護老人ホームきやま  
(有)川津土建、美容室ライフステージ、山下うどん、(一社)坂出市医師会、まえた整形外科医院、  
(株)JA 香川県オートエナジー (浜街道坂出 SS)、(社福)敬世会緑の里、(株)村上組 王越方面工事現場事務所、  
坂出警察署、四国交通共済協同組合【2台】



## 宇多津町

ネットトヨタ高松(株)もみの木店、(株)フレッシュデゴ宇多津事業所、YKK AP(株)四国製造所【3台】  
(株)村上組 宇多津法面工事現場事務所

## 丸亀市

(医社) 誠和会中野外科胃腸科医院、香川県農業協同組合讃さん広場、マルタフード今津店  
飯山北地区コミュニティ推進協議会、(株)JA 香川県オートエナジー(岡田セルフ SS)、(株)T・D・S 丸亀自動車学校、丸亀市城南コミュニティセンター(ふれ愛の町みなみをつくる会)、丸亀警察署【3台】

## 多度津町

(株)アムロン鉄鋼本部テクノ多度津【2台】、高島総業(株)、白方公民館((公財)多度津町文化体育振興事業団)

## 善通寺市

西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所、宮川製麺所  
(社福)善通寺市社会福祉協議会、善通寺運転免許センター

## 琴平町

(医社)たけお会岩佐病院、都村製作所(株)【3台】、琴平警察署

## まんのう町

まんのう町役場琴南支所(まんのう町役場職員組合)  
(株)JA 香川県オートエナジー(協栄 SS)、道の駅ことなみ

## 三豊市

(株)JA 香川県オートエナジー(豊中ふれあい SS、宝山 SS、高瀬 SS)【3台】、(株)丸吉運輸、三豊警察署  
青葉工業(株)令和元年度善通寺管内防災対策工事財田事務所

## 観音寺市

観音寺市役所、観音寺市世界のコイン館(観音寺観光開発(株))、(株)フードレック【4台】、(株)JA 香川県オートエナジー(豊南ふれあい SS)、(株)パブリック、観音寺警察署、常磐建設(株)土井之池改修工事その1現場事務所

## 協力飲料水メーカー

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、FVジャパン(株)、(株)伊藤園、香川ペプシコーラ販売(株)  
(株)ジャパンビバレッジ中四国、サントリービバレッジソリューション(株)、(株)ワールドフーズ  
(株)ウエストアライアンス、(株)光洋、(株)石原商店

この自販機の  
ジュースを  
買ったなら、  
困っている人の  
役に立つんだよ！



### ・・・「かがわ被害者支援自動販売機」(寄附金付き自動販売機)設置のお願い・・・

被害者支援自動販売機は、自動販売機設置者の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。寄附金は、当センターの被害者等の支援のために活用させていただきます。

また、被害者支援自動販売機は、多くの人々が集まる市街地や広場等に設置されることで、一人でも多くの方が当センターの活動及び犯罪被害者への理解を深める広報的役割も担っています。

支援の輪を広げるため、被害者支援自動販売機の設置にご協力をお願いします。

#### 設置方法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、現在設置されている自動販売機の各メーカーと相談させていただき、協定を結べばすぐに実現できます。新設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。

ご支援をいただける場合は、当センター(087-897-7790)までご連絡をお願いします。

## みなさまからのご支援、ご協力をお願いします

当センターは、皆様からの会費・寄付金などにより運営しています。被害者の方が安心して相談できるセンターでありたいと思っています。  
皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

◎賛助会員 個人 一口 千円より  
                  団体 一口 一万円  
◎寄附金 随時お受けしています

### 会費・寄附振込先

お振込先：ゆうちょ銀行  
口座番号：01620-0-9852  
口座名義：公益社団法人かがわ被害者支援センター

### 税制上の優遇措置について

当センターへの賛助会費、寄附金は、公益社団法人等寄附金として、所得税、法人税等税制度上、寄附優遇措置の対象になります。

また、個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除対象の公益法人への寄附金として、税額控除の対象になります。詳しくは国税庁のHPでご確認ください。

### お問合せ先

760-0018 高松市天神前7番18号 公益社団法人 かがわ被害者支援センター事務局  
TEL 087-897-7790 FAX 087-897-7778

・・・一人で悩まずお電話ください・・・

犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です

相談電話 087-897-7799 (平日10:00~16:00)

相談・支援無料 秘密厳守

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
**公益社団法人 かがわ被害者支援センター**

<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>



かがわ被害者支援センター  
シンボルマーク

### 編集後記

暖冬で異常気象の不安を感じながら、『今年こそ災害の無い一年で！』と切望します。これからも、犯罪被害者等の方々に充実した支援をしていきたいと思ひます。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

(支援員 N)

表紙の写真：植村氏 撮影(椿)



この冊子は赤い羽根共同募金の助成により作成しています